

令和3年度 第2回 東京都移動性向上委員会 議事概要

日時：令和4年3月16日（水） 10:30～12:00

場所：国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 15階第2会議室（WEB会議）

○議事内容

- （1）主要渋滞箇所の解除
- （2）TDM 施策について
- （3）委員会規約・委員名簿について

○議事要旨

（1）主要渋滞箇所の解除

- ・今年度のモニタリング結果において、対策が未実施又は事業中の箇所のうち、5年間連続でモニタリング指標の基準値をクリアしている2箇所について、主要渋滞箇所からの解除の可否を審議した。
- ・1箇所（諏訪町交差点）については、道路管理者・警察・道路利用者へのヒアリングにおいて道路管理者から「渋滞の認識あり」との指摘がなされたが、交通状況分析結果及び現地確認結果から混雑状況は認められないことから主要渋滞箇所から解除することが了承された。
- ・他の1箇所（四ツ木橋南交差点）については、ヒアリングにおいて「渋滞の認識あり」との指摘がなされ、交通状況分析結果及び現地確認結果からも速度低下と信号での捌け残りが発生している状況が確認されたため、主要渋滞箇所から解除せず経過観察とすることとした。なお、警視庁より信号現示の改良を検討するとの意見があった。

（2）TDM 施策について

- ・首都高速道路株式会社より東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における取組みが報告された。
- ・事務局より、今後具体的にTDM施策を進める候補となる箇所やエリアを検討中である旨報告した。
- ・交通需要が非常に高い東京都においては、エリア全体として需要を下げる必要があり、その手法としてTDM施策がある。東京都の場合、個別の主要渋滞箇所に対してTDM施策を適用するのは、あまり適切な概念ではないと思われるため、

今後、委員会の中でどのような形で位置づけるかは継続的な議論が必要との意見があった。

(3) 委員会規約・委員名簿について

- ・令和4年度より、委員長に東京都立大学 小根山教授に就任して頂くことが了承された（現在の大口委員長は退任）。

以上